見えない未来に生きる

ロマ８：１８－３０

　私たちはクリスチャンとして生きています。他の人たちとは何かが違うと、自覚しています。ただ多くの場合、何がどう違うのか、はっきりとは分からないでいるのも事実です。

　私たちは救われています。私たちは神の国に招き入れられています。

キリストの霊、聖霊が私たちの内に住んでおられます。私たちには神の守りがあります。その他、違いを数え上げると切りありません。

　その一方で、私たちも普通の人たちと何ら変わりのない暮らしをしているというのも、事実です。同じご飯を食べ、同じみそ汁をすすり、同じ寿司に舌鼓を打ち、同じ交通渋滞に悩まされています。同じ暑さ寒さに不平を漏らし、台風に痛めつけられたり、恩恵をうけたりしています。

Ⅰ．　今の私たち　聖書によると、今の私たちはごく普通の人たちと同じように、虚無に服して苦しみに呻いています。それが現実です。とはいえ、私たちクリスチャンの苦しみには、必ず望みが伴います。それはまず、私たちは常に私たちと同じ苦しみを耐え抜かれたキリストが、私たちと共に居て私たちに声援を送っていてくださるということと、さらに、キリストの霊である聖霊が私たちの内に宿り、私たちの内側から私たちに力を与え、共に痛み、共に悩み、共に戦って勝ちを得させてくださるということです。

　私たちはどんな時でも孤独ではありません。私たちのすべてを知り理解してくださる救い主が、常に私たちと共に居てくださるのです。いつでもどこでも、私たちはこの救い主に語り掛け、訴えることができるのです。私たちがこの世の嵐に弄ばれているかのように見えるときにも、実は、聖霊が共に居て供に戦っていてくださるのです

Ⅱ．　将来の私たち　私たちは終わりのない戦いを戦っているのではありません。私たちの戦いには必ず終わりがあります。しかもそれは、私たちの圧倒的な勝利に終わるのです。キリストが私たちのために死んで甦り、勝利を勝ち取って下さったためです。

　私たちは今その甦りの力を頂いて、死から甦らされたものとして生きています。それが私たちの霊的な、目に見えない現実です。しかし目に見える日常の世界では、まだまだその霊的な現実が、日常に実現されてはいません。そこに私たちの痛みと苦しみがあります。

　でもその二重の世界に生きる痛みは、いつまでも続くものではありません。私たちがひとたびこの世に別れを告げ、肉体が土に帰って後、しばらくすると、私たちには甦りの時があるのです。その時キリストが私たちを迎えに来て、私たちを甦らせ、新しい肉体を与え、キリストに似た性質を与えてくださいます。

　私たちが今のこの世を去って次の世に行く時、どんな生活が待っているのか、聖書はあまり明らかには語っていません。この世の苦しみからは解放されるのは確かですが、完全な人間の生活ができないのも確

かです。なぜなら、完全な人間は神に似た心を与えられ、肉体という衣をまとっているからです。私たちが完全にされるのは、キリストが来臨し、私たちが甦らされ、新しい肉体を着せられるときです。
　私たちはこの時を待ち望みながら、今の苦しみに満ちた世界を生き抜くのです。希望は私たちの力です。

Ⅲ.　希望を持つ私たち

希望は人生の光です。希望さえあれば、どんなに困難な世界も生き抜くことができます。でも多くのクリスチャンが、あたかも希望が無いような生き方をしています。自分たちが持っている希望をしっかりと理解して、どんな時でもこれを　見失わないことが大切です。
　フロントガラスが曇ってしまうと、まるで濃い霧の中に入ったように先が見えなくなり、車の運転ができなくなります。希望は、ともすれば曇った霧の中にいるように、薄くぼやけて行く先を不安にしてしまいます。フロントガラスは、外側だったらワイパーで拭き、内側だったら短い時間冷房を吹きかけて乾かします。冷房が無ければ、タオルやハンカチで拭きとります。
　私たちの信仰には、ワイパーや冷房のように、あるいはタオルかハンカチのように、曇りをふき取る物が必要です。まず、しっかりと曇りが付かなくなるような、処理をすることです。それは聖書を読み学んでおくことです。さらに、いつも神様を賛美し、礼拝を欠かさず、祈りを大切にすることです。礼拝会や祈り会を大切にし、クリスチャン同士の交わりを深くしておくことです。そうすると私たちの人生には曇りが少なくなり、曇ったとしてもすぐに消し去ることができるのです。
　私たちの希望は、私たちがみなキリストのように変えられ、救いが完成することです。私たちが生きているこの世界も、完全に調和した世界に変えられることです。それは神の約束であり、消えることがない私たちの希望です。